



2025-2026年度 坂本 忠光会長

週報 No.2300

発行 2025年 9月 18日

2025-2026年度

会長 坂本 忠光

幹事 大木 崇寛

副会長 齋藤 哲雄

副幹事 奥川 淳一

編集責任者・公共イメージ向上委員会

委員長 寺脇 貴浩

行事予定

9月25日 部門セミナー報告
米山・国際・社会奉仕
(時間変更)

10月2日 社会奉仕事業 献血
(例会場・時間変更)

10月9日 部門セミナー報告
青少年・R財団

10月18日 藤村病院健康フェア
生き生き感謝祭
ポリオ根絶募金活動

10月23日 卓話 米山記念奨学生
王曉瑜さん

10月30日 定款の規定により休会

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。
前回の例会からの報告をいたします。9月6日(土)、青少年奉仕部門セミナーに、樋口青少年奉仕委員長と2人で出席しました。また同日午前中に、大木幹事と長沼公共イメージ向上副委員長と3人で上尾高校の文化祭に参加してきました。上尾高校の生徒数が1000人以上ということもあり、校内は生徒、保護者、一般の方とすごい人数で、とても活気のある文化祭でした。また9月9日には地区補助金活用事業として、「ルームここから」さんに家電製品の寄贈をしてきました。
さて本日は毎週斉唱しているロータリーソングについて少し勉強しましたのでお話しします。1905年にシカゴロータリークラブが創立されましたが、その後、「親睦・互恵派」と「奉仕・拡大派」の対立が起こりクラブ崩壊の危機にまでなったそうです。1907年、入会5人目のハリー・ラグルスが、ぎすぎすした雰囲気と和らげようと「諸君、歌を唄おうではないか」と提案したそうです。歌うことでクラブの雰囲気が改善され、解散の危機を脱したのが、ロータリーソングの始まりです。ロータリーソングは世界で140曲以上あり、日本では20曲以上あるそうです。日本では1920年、東京ロータリークラブで英語のロータリーソングを歌っていたそうです。その後1935年に京都での地区大会で日本語のロータリーソングを募集し、発表されたのが「奉仕の理想」、「我らの生業」です。1951年には「手に手つないで」ができました。これは拡大と親睦の内容から、翌年1952年に日本が一地区から二地区に分かれるということになり、一地区で最後の地区大会ということで全員で「地区は分かれても私たち心は一つだ」という思いのもとから互いに手と手をつないでいこうと誓い合って歌われました。その後1953年に「それでこそロータリー」が作られました。ちなみに「四つのテスト」にも曲があるそうです。また戦時中、ロータリークラブは軍部に大変睨まれる存在でした。スパイ容疑がかけられ、例会には憲兵が常在していたので、日本のロータリークラブはアメリカのスパイではないという証として国への忠誠を表すため、例会場に国旗を掲揚し、君が代を斉唱するようになりました。戦時中でもロータリーソングは歌われていました。ここでロータリーソングの効用を

ポール・ハリスは4つ挙げています。友愛を深める、気分を和らげる、音楽への関心が深まる、歌の内容と例会の目的が合えば話題が盛り上がる、という風にロータリーソングを歌うことで例会が和み、友愛が深まることを信じて歌っていたそうです。私も友愛を深め、仲間意識を強め、例会が楽しくなるという思いを込めて今後も歌っていければと思っています。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

大木 崇寛 幹事

◇2025-26年度米山記念奨学部門、米山カウンセラー研修会が10月4日(土)18時から地区事務所で開催されます。対象者はよろしく願います。

◇重ねてのご案内になりますが、11月15日・16日に地区大会が開催されます。多くのメンバーで参加したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

◇重ねてのご案内になりますが、尾身茂先生の講演会が10月1日にさいたま市文化センターで開催されます。今のところの参加予定が、坂本会長、門崎直前会長、齋藤副会長、私の4名ですがまだまだ参加していただければと考えておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

委員長報告

親睦活動委員会 関口 良康 委員長

本日18時半から原田会員と小山会員の新会員歓迎会を、創作ダイニング108で開催します。ご参加をよろしくお願いいたします。

もう1件、オペラ『椿姫』のチラシを皆さんにお配りしました。こちらは上尾でオペラを広めている友清創さんからの案内です。ただ開催が10月18日で、藤村病院さんの感謝祭と同日同時刻となり、会員の皆さんは例会になりますので、お知り合いの方にご案内していただければと思います。



例会主題

自分史

小山 雅史 会員

皆さん、こんにちは。
今年6月に入会させていただいた小山です。私は1977年5月1日、メーデーの日生まれということで、とてもめでたい日に生まれました。家族は私、妻、娘が一人おりまして、娘は高校1年生です。仕事柄、夜も出かけることが多いので、家族のご機嫌とりというような感じで、毎年1回はどこかに旅行に行っています。

上尾市立大石南小学校、上尾市立大石南中学校を卒業しました。中学校の卒業生で有名な方がおります。的場浩司さんや、お笑いトリオ「我が家」の杉山君と矢田部君がいて、その2人とは同級生です。高校は川越にある私立の城北埼玉高校というところで、滑り止めのつもりでしたが、割とレベルの高い高校でした。大学は明治学院大学で、明治学院と言うとだいたい明治大学と勘違いされる傾向があります。以前はちゃんと明治学院大学と言って勘違いを訂正していましたが、最近は訂正が面倒になり、明治大学だと思っていただけたら幸いです(笑)。

大学時代、あまり勉強では思い出はほとんどありませんでしたので、海外によく旅行に行った思い出をお話しします。まずタイとカンボジアに行きました。カンボジアへはアンコールワットを見に行ったのですが、25年前の首都プノンペンに観光客はほとんどいませんでした。カンボジアは、ポルポト政権下で大虐殺あり、一説では170万人ぐらいが虐殺されたそうです。その主なターゲットは知識人ということで、以前の政権の官僚や教員、マスコミ関係者だったそうです。私が行った頃、ポルポト政権は終わ内戦も終わりましたが、政治が安定してなかったため観光客はまだいませんでした。アンコールワットがあるシムリアップという都市は多少観光客は多かったのですが、私が行った半年前、同じ大学の女友達がアンコールワットに行く途中で強盗に全て奪われ、まだまだ非常に危ない時代でした。タクシーの運転手さんと仲良くなって射撃場へ連れて行ってもらいました。10〜20メートル先の的があり、旧ソ連製のAK47ライフルを撃ちました。料金は10ドル



もしませんでした。撃つと反動がすごかったことを覚えています。メニュー表の下に手榴弾20ドルと書いてあって、せっかくだからということで投げたのですが、私の投げ方は少々危険だったようです。

東南アジア以外にもヨーロッパへ1ヶ月くらい旅をしたことがあります。スリルのあるカンボジアで色々見たので、ヨーロッパは平和であり印象に残っていません。オランダのアムステルダムから入国し、南下して最後イタリアのローマから帰国したのですが、往復の飛行機代が大韓航空で57,500円と非常に安かったことを覚えています。今だとおよ3倍以上だと思います。当時はまだユーロにもなっていないので、オランダからベルギーに行き、ドイツのケルンに入って、フランスのパリ行って、モナコに行って、イタリアのミラノ、ベネチア、フィレンツェ、ローマを経由しました。オランダやドイツは人が多く、物価が高かったイメージがあります。



写真左はパリの凱旋門で、右がドイツのケルンです。オランダからドイツは結構寒かったのと物価が結構高かったため、フランスまではほぼ2泊3日で移動して、ヨーロッパ旅行の多くの時間、2週間以上はイタリアに滞在しました。イタリアは気候が温暖で物価が安かったからです。ローマの駅前あたりの庶民的なレストランでは、サラダ、スープ、パスタ、メイン料理といったフルコースを食べ、パンとデザートもついて1000円でした。一升瓶より少し大きめの白ワインはだいたい500円ぐらいで売っていて、当時学生だったので、宿でだいたいワインを飲んで二日酔いになったのも覚えていました。

ちなみに旅行といえば、毎年、須田さんが企画している旅行に行っています。上尾商工会議所青年部の委員会の卒業旅行が元になっていて、毎年、徐々に人が増えています。今年は旭川に行ったのですが、行く当日の空港で行き先を参加者に伝えたというそんなサプライズもしながら楽しんでます。

大学を卒業して、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社という薬のメーカーに就職しました。私はいきなり熊本に飛ばされ、熊本市内に住みながら、毎週月曜日には人吉市や球磨郡(くまぐん)という県の南端エリアに出張していました。熊本市から約1時間かけて人吉市まで高速で行くのですが、人吉市のインターを下りてからさらに山道で1時間かけて五木村の診療所に行っていました。着くまでに半日かかるので、診療所に行ってからそばを食べて帰ってきたというのを覚えています。当時は抗アレルギー剤のアレジオンという薬を売っていました。3年ほど経験した後、実家の会社に戻ってきました。

自社の話しをする前に少し趣味の話しをします。趣味はオートバイと美術館巡りです。最近よく美術館に行くようにしています。最近浮世絵展、その前にはロバートキャパ展、デ・キリコ展、お笑い芸人の千原ジュニア展などに行きました。私は美術系の専門的なところはわからないのですが、美術館の雰囲気が気持ちよくてよく行きます。美術に興味を持ち始めて、鑑賞に行った作品以外の画家のことを調べたりもします。美術以外にも音楽鑑賞でコンサートやライブにも行くようにしています。「行くようにしている」というのは、昔好きだった歌手が亡くなったり、グループが解散したり、外国人の歌手やバンドは10年以上来なかったりなど、後悔するのはいやなので、好きだったアーティストのライブにはなるべく行くようにしています。

それでは本々、株式会社ヤマについて話させていただきます。事業所は上尾市領家にあります。業種はプロパンガスの販売と設備工事、上下水道工事、水回りのリフォーム、灯油の販売、不動産業です。それと家庭用井戸の掘削工事も行っています。井戸は2011年の東日本大震災の時に、知り合いの不動産屋さんから、井戸を掘る業者が忙しいようだという話を聞いて、少し余力があったので、掘削機械を買って始めました。当時、被災地では停電や断水が起きてライフラインが途絶えていました。家庭用井戸は手押しポンプであれば電気がなくても水が使えますし、電動のポンプを入れたとしても、発電機があれば水を使えるので、防災という観点から非常に需要が増えていました。井戸と言うと丸井戸が頭に浮かぶと思いますが、当社の井戸は、直径15センチくらいの井戸です。20メートルほどを掘り、そこから水を吸い上げます。掘削工事ではコンパクトな掘で、作業

はだいたい2人で行います。エンジンの力を使って長い鉄パイプを地中に入れ、先端のドリルを回転させて掘っていきます。ドリルの一番底の先の部分から水を噴射させて、水がどんどん上がってきて、地上に泥水が上がって溢れ、水槽に流れて泥が沈殿し、上水だけが別の水槽に移り、上水の槽からまたポンプで水を汲んでエンジンに入れて、またそこから水を循環させて掘っていくという感じになります。井戸の本格的な業者は100メートルくらい掘るのですが、当社は、だいたい家の水撒きと非常用に使うという観点から、20メートルくらい掘って庭に水栓柱と蛇口をつけて完成です。ホームページに載せたらテレビ局から取材したいと電話があったのですが、電話を受けた当時はまだ掘削機械に慣れていなかったためお断りさせていただきました。上尾近郊でも井

戸の需要は結構多いのですが、他の業務が忙しくて対応できない場合があります。業務の合間を縫っての対応ですが、井戸の工事を行っている業者は珍しいかなと思い、本日紹介させていただきました。

入会し、このような機会がなければ自分の半生を振り返ることはなかったと思います。本日はご清聴いただきありがとうございました。



スマイル

小山会員、卓話いただきありがとうございました!!

坂本会長／大木崇寛幹事／齋藤哲雄副会長／奥川副幹事／尾花会員／深澤会員／久保田会員／藤村会員／須田会員／樋口会員／長沼会員／門崎会員／関口良康会員／山崎会員／寺脇会員／木田会員／荒井会員／原田会員／小山会員

出席率

会員数	33
出席免除	2
出席対象者	31
出席者数	20
	64.52%

2025. 9. 6 上尾高校文化祭に行ってきました!

インターアクト同好会の生徒さんたちは難民支援チャリティバッジを元気に製造・販売していました。



2025. 9. 11 原田会員と小山会員の新会員歓迎会を行いました! 於:創作ダイニング108



例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

